

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル6F No213

団体名 株式会社タイズ

代表者 上原 啓泰

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃたいず
団体名	株式会社タイズ
(ふりがな)	うえはら ひろやす
代表者氏名	上原 啓泰
所在地	市内事業所 北九州市小倉北区 浅野3丁目 AIMビル6階 コンパス小倉 No.213
	主たる事業所
事業概要	企業向け情報システムの企画提案、導入支援、開発、運用、サポート デジタル化支援、DX推進サポート、IoT機器・アプリ試作開発、ホームページ制作、音響関連機器・楽器販売
企業・NPO法人等の別	企業
業種（企業のみ）	情報通信業
従業員数（企業のみ）	1～5人
ホームページの有無	有
ホームページURL	https://ties.jp
































連絡先

担当部署	
担当者	上原 啓泰
電話番号	093-512-0666 (090-9585-8510)
メールアドレス	uehara@ties.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					温室効果ガス排出への意識を高めるために、CO2計装を自社で製作し、設置した場所のCO2濃度の増等を定期的に参照できるようにしている。これにより、CO2排出やエネルギー利用についての意識向上を図ることをはじめの一歩とし、その後の取組みを継続(持続)するために重要なものと考えている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境 (1) ②
								ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					事業の特性上、PC、その他電子機器類の廃棄については、リサイクル法に則った処理を行っている。 紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 簡易包装、レジ袋の削減を実施	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境 (2) ②
								ターゲット	具体的な取組
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					導入する電力製品について、消費電力の低いものを選択するようにしている。 事業で発生する資料等について、複写、紙面への印刷やコピーをせず、資料データのやり取りにより対応している。 市内事業者を優先して調達先とするように取り組んでいる。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	環境 (2) ①
								ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					提供技術やサービスレベルの現状維持に留まらず、常に改善課題を挙げ、新たな技術開発に向けたトライ&エラーや、適応可能技術の探索を行っている。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	経済 (1) ①
								ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					CO2センサを搭載したIoT装置を製作し、必要箇所への試験的な配置に向けた取組みを行っている。 その他、外見では分かりにくい障がいを持った方が、周囲の人の助けが必要となった場合に提示するヘルプマーク・ヘルプカードをIoT化する装置を開発中である。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	社会 (1) ⑤
								ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					妊婦中の従業員、介護に従事する従業員や障がい者が療養する従業員に対する短縮勤務制度を導入 従業員が介護離職をしないですむように、休職、復職、再雇用の制度を導入。 テレワーク導入。ほとんどの業務をテレワークで行えるようにしている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会 (1) ⑥
								ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施。 これまでも積極的に女性の採用をさせていただき、育児スペースと併せた作業場所などの環境構築も考えてきた。 (現在は、リモートワークの活用でその必要性も低下)	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会 (1) ③
								ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会 (1) ②
								ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					従業員に対して、定期的に健康診断を実施。 感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施。 社内において禁煙を実施。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会 (5) ①
								ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					自社にとってあるべき人材像を明確に定義し、人材育成のためのOJTとOFF-JTプログラムを推進している。 その他、厚生労働省の支援事業として、「有期実習型訓練」制度の認定を受け、就職希望者に対し、教育実習事業を行った実績がある。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済 (2) ①
								ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会 (2) ①
								ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業継承など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					SDGsを推進する社内PJを構築する【2021年11月取組開始予定】 SDGs宣言やSDGsへの取組に関する情報を開示する【2022年1月取組開始予定】 入居施設が定期的に行う防災訓練に参加している。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	社会 (4) ③
								ターゲット	具体的な取組

※CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月25日
 団体名 株式会社タイズ

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は、持続可能な経済、社会、環境づくりのために、SDGsの理念のもと、技術探求、社員個々の意識向上を図るべく、「利他」の意識を判断基準とし目標達成に向けた取組を行うことを宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		CO2 IoTセンサーの展開、データ収集	指標 (KPI)	IoTセンサー設置数	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	2021年5件 ↓(累積) 2023年50件	具体的な取組 環境 (1) ア
経済		ヘルプマークIoT装置の社会展開 ヘルプマーク認知度アップに向けた取組	指標 (KPI)	装置利用者	指標
社会	○		目標値		社会 (1) ⑤
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2021年4人 ↓(累積) 2023年40人	具体的な取組 社会 (1) オ
経済	○	北九州デジタル化サポートセンターを通じ、市内企業のデジタル化支援。業務効率化、生産性向上による経済活動の持続に向けた取組み	指標 (KPI)	デジタル化サポート数	指標
社会			目標値		経済 (3) ①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	2021年8件 ↓(累積) 2023年30件	具体的な取組 経済 (3) イ

記載について

- 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
 （1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社タイズ

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
99 その他（市と連携した取組み）	北九州市DX推進プラットフォーム 北九州デジタル化サポートセンター コンソーシアムメンバ、相談員 北九州市内企業のDX推進サポート・デジタル化支援のための相談員、および専門家として活動しています。
12 いのちをつなぐネットワーク事業	ヘルプカード・ヘルプマーク認知度向上のためのPR活動。関連IoTシステム開発中 https://youtu.be/Pc6_e4iFWZI
8 地域コミュニティ活動への参加	戸畑菖蒲祭り、戸畑図書館祭りなどに参加。 戸畑を中心に活動する「間の会」メンバとして地域活性のための企画立案・実施、運営等を行っています。
	<参考：取組一覧以外の自主活動> CO2センサをネットに接続し、センサ設置場所のCO2濃度データを収集、蓄積、参照するIoTシステムを開発し、展開のためのテストを行っています。その他、水素内燃機関による発電機開発への取組みを予定しています。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。